

# 小規模事業者 景気動向調査報告書

平成 29 年第 4 四半期

(平成 30 年 1~3 月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市中央通 3 丁目 5 - 1

TEL 0982 (33) 6666

FAX 0982 (33) 6682

## I. 実施概要

1. 調査対象事業所数 237事業所
2. 回答事業所数 78事業所
3. 回答率 32.9%
4. 業種別内訳
  - 製造業 5事業所
  - 建設業 12事業所
  - 卸売業 3事業所
  - 小売業 19事業所
  - サービス業 39事業所
  - 合計 78事業所

### 5. 実施時期

平成30年 6月

### 6. 調査対象期間

平成30年 1月～3月（第4四半期）

### 7. 調査内容

調査対象期間である1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況を調査した（DI値の集計）。

### ※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

### 8. 調査方法

調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

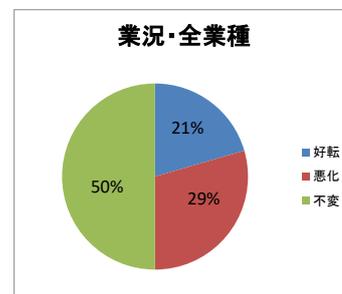
## II. 概況

### 1. 全業種の業況

前年同期比のDI値は▲9.0ポイント。

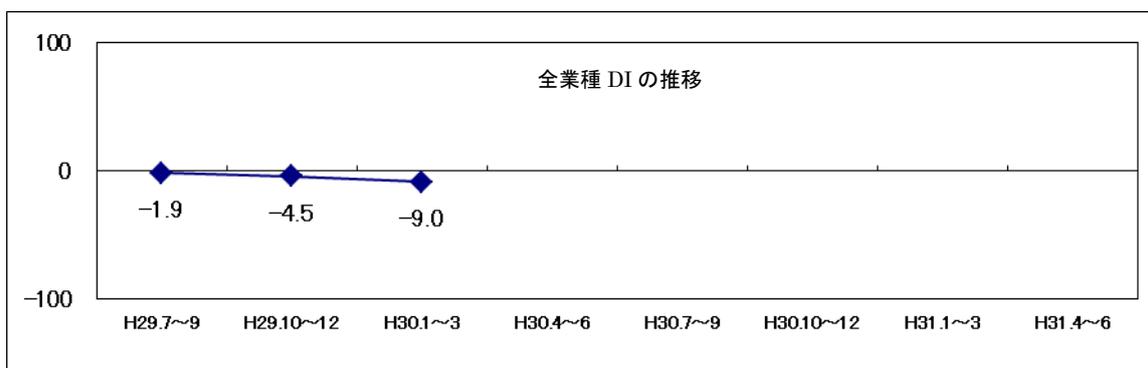
業況が好転したと回答した事業所は20.5%、悪化したと回答した事業所が29.5%、変わらないと回答した事業所は50.0%だった。

1～3月は、建設業・卸売業・小売業では人件費の上昇、仕入価格の上昇等により業況は悪化。製造業では県外の販路開拓による売上げの増加などにより業況が改善。



来期見通し(4～6月)については、卸売業・サービス業では人件費や仕入価格の値上がりなどにより業況は悪化の見通し。一方、建設業・小売業で消費税率UPに対する駆け込み需要への期待や営業努力による顧客の増加などにより業況は改善の見通し。

|       | H29.7～9 | H29.10～12 | H30.1～3 | H30.4～6 見通し |
|-------|---------|-----------|---------|-------------|
| 全業種   | ▲1.9    | ▲4.5      | ▲9.0    | ▲7.7        |
| 製造業   | 0.0     | ▲25.0     | 20.0    | 20.0        |
| 建設業   | 21.4    | 16.7      | 0.0     | 8.3         |
| 卸売業   | ▲25.0   | 20.0      | ▲33.3   | ▲66.7       |
| 小売業   | ▲16.0   | ▲25.0     | ▲31.6   | ▲21.1       |
| サービス業 | 0.0     | ▲2.1      | ▲2.6    | ▲5.1        |



## 2. 業種別の概要

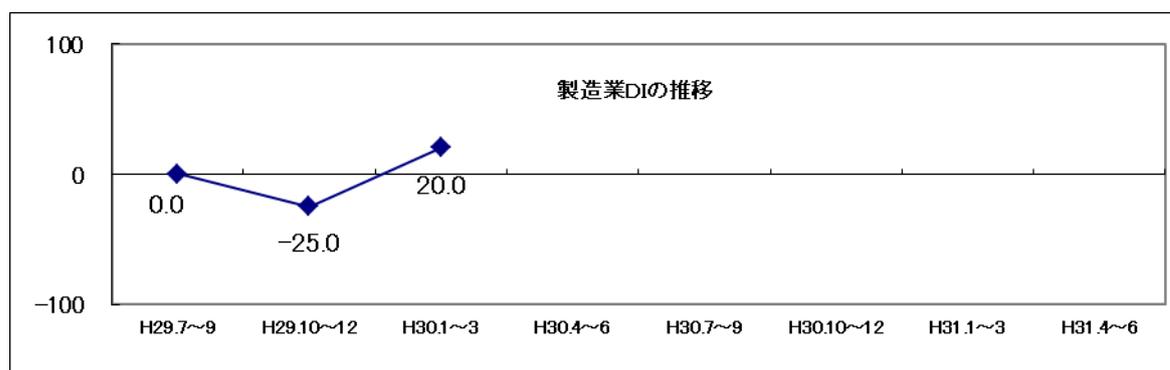
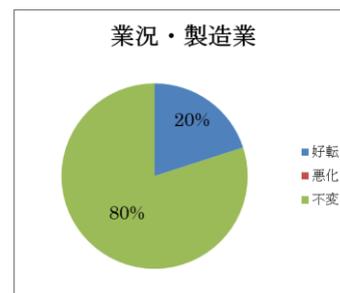
### ① 製造業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が20.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は20.0%、悪化したと回答した事業所が0.0%、変わらないと回答した事業所が80.0%だった。

製造業からは「リピート品の受注が安定している」（精密機械部品製造業）等が業況を示す意見として挙げられている。

来期見通しD I 値は20.0ポイントで、横ばいの見通しとなっている。



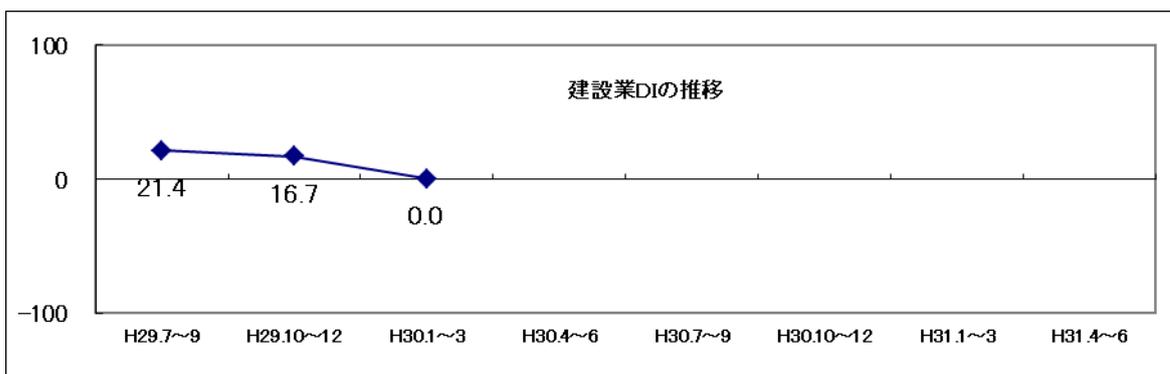
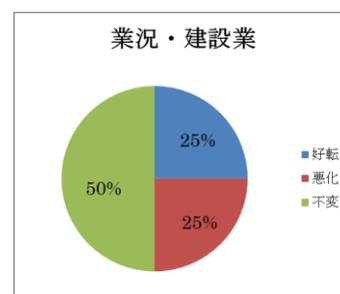
### ② 建設業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が0.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は25.0%、悪化したと回答した事業所は25.0%、変わらないと回答した事業所は50.0%だった。

建設業からは、「大型工事が減った分、その他民間工事の受注で売上などの不変を保っている。従業員は1人であり、ここ数年募集しても1人も応募がない。」（水道設備工事業）、「物件が少ないため、元請からの単価も下落していてダブルで資金繰りが苦しい状態が続いた」（冷凍設備工事業）等が業況を示す意見として挙げられている。

来期見通しのD I 値は、8.3ポイントで、好転する見通しとなっている。



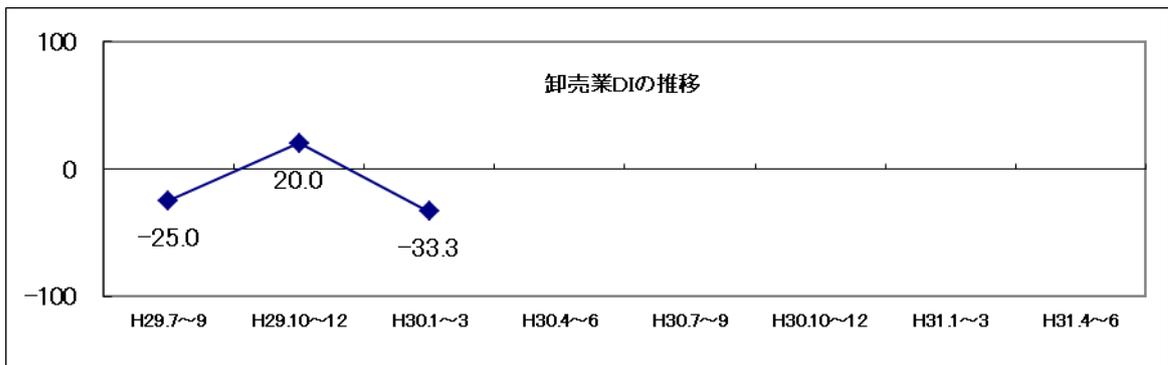
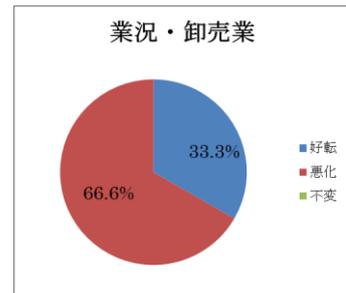
③ 卸売業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が▲33.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は33.3%、悪化したと回答した事業所が66.7%、変わらないと回答した事業所は0.0%だった。

卸売業からは、「従業員が確保できず仕事を断ることが少なくなかった」（花卸売業）等が業況を示す意見として挙げられている。

来期の見通しD I 値は、▲66.7ポイントで、悪化する見通しとなっている。



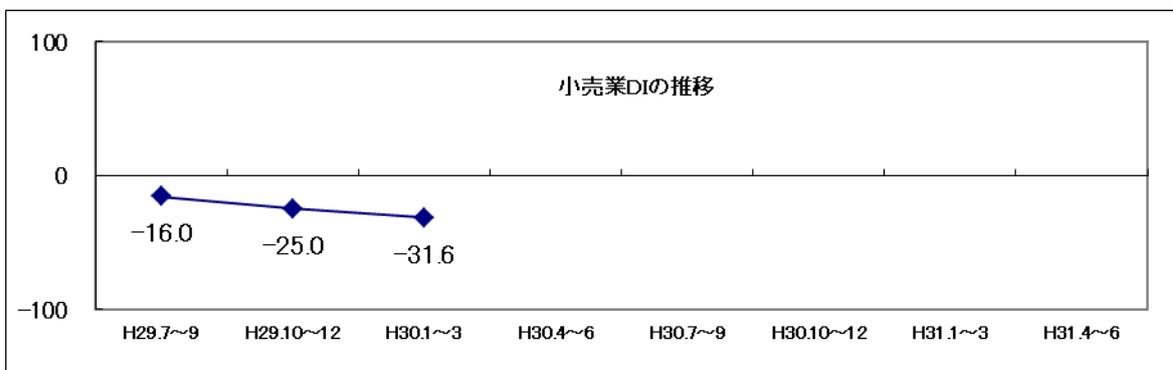
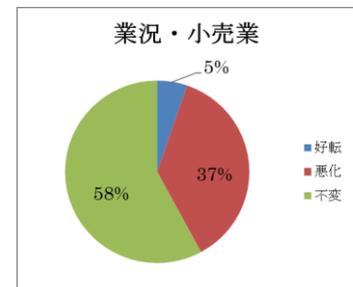
④ 小売業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が▲31.6ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は5.3%、悪化したと回答した事業所は36.8%、変わらないと回答した事業所は57.9%だった。

小売業からは、「以前から売上が少し減少しており、さらに仕入れ値・人件費が上がっている。それが続いている状況であり業況は悪化している。」（食料品小売業）や、「平成30年1月より運送料金が上がり、仕入れ先からの荷物に運賃がかかるようになった。そのうえ仕入れ価格自体も値上がりしている。」（事務用品・事務機器販売業）等が業況を示す意見として挙げられている。

来期の見通しD I 値は、▲21.1ポイントで、好転する見通しとなっている。



⑤ サービス業の業況判断は、

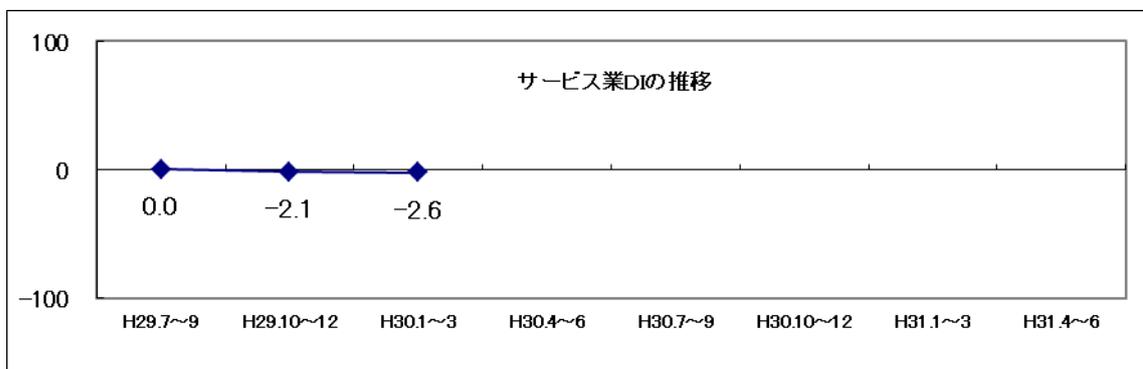
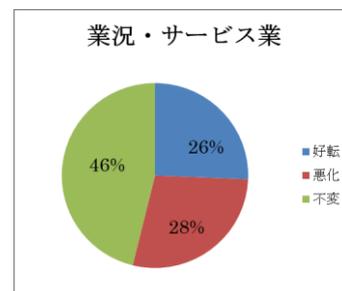
前年同期比のD I 値が▲2.6ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は25.6%、悪化したと回答した事業所は28.2%、変わらないと回答した事業所は46.2%だった。

サービス業からは、「葬儀件数の大幅増加に伴い撮影が増えた。婚礼の新商品も増え来年の成人式の前撮りも始まり今年もワンランクアップした価格の新商品もすでに選んで頂いています。」

(写真業)、「お客様の来店間隔が長くなっており、毎年来る人は少なくなっています。」(理容業)等が業況を示す意見として挙げられている。

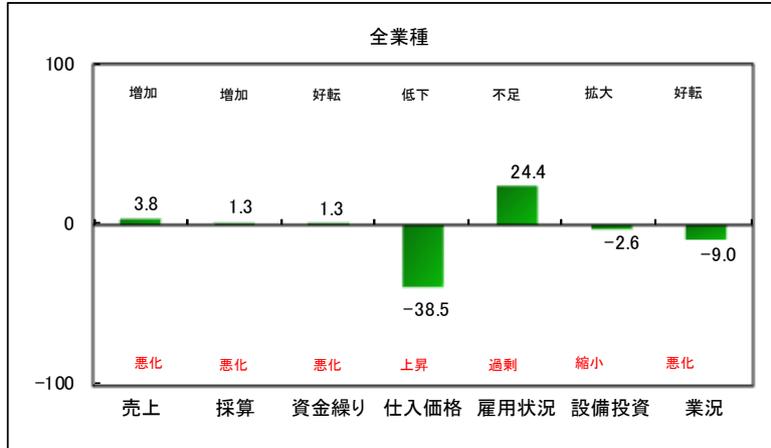
来期見通しD I 値は、▲5.1ポイントで、悪化する見通しとなっている。



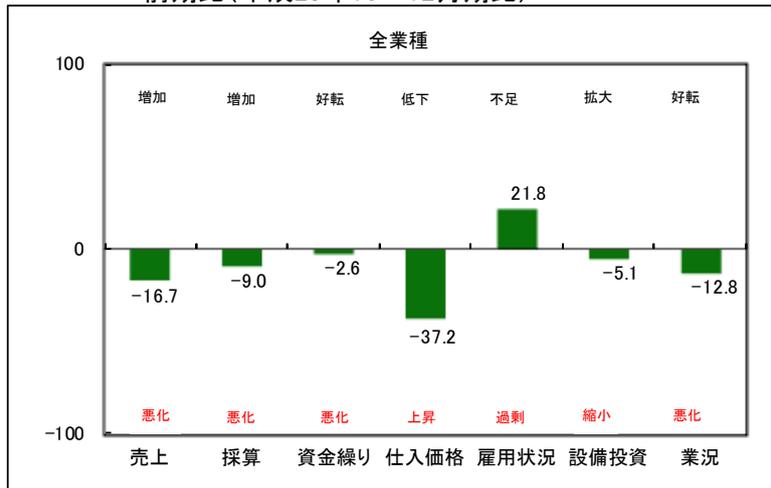
## 市内景気動向

### 全業種

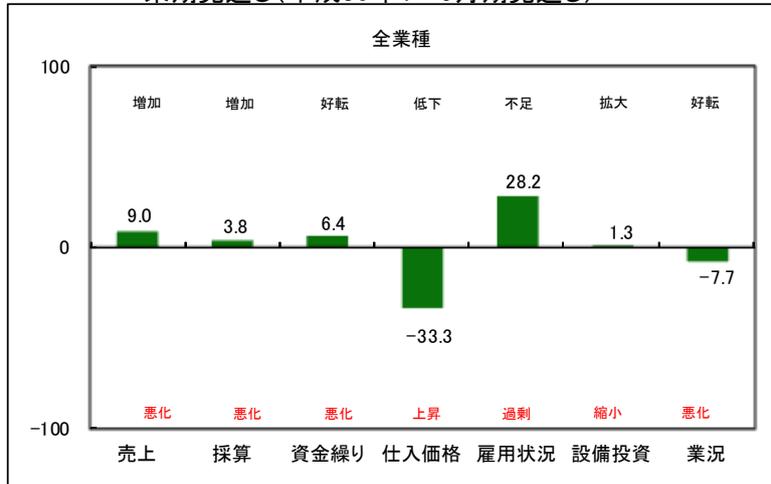
前年同期期比(平成29年1～3月期比)



前期比(平成29年10～12月期比)



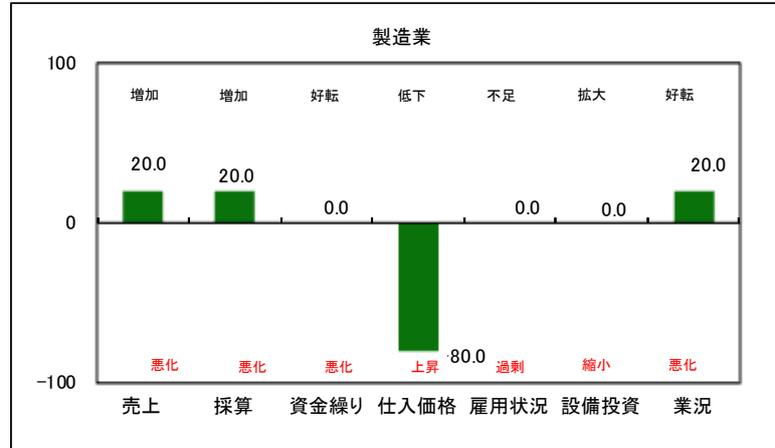
来期見通し(平成30年4～6月期見通し)



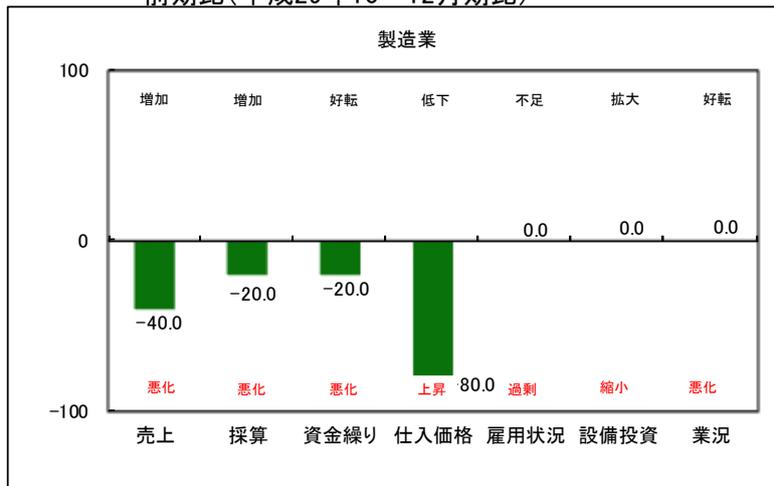
## 業種別景気動向

### 製造業

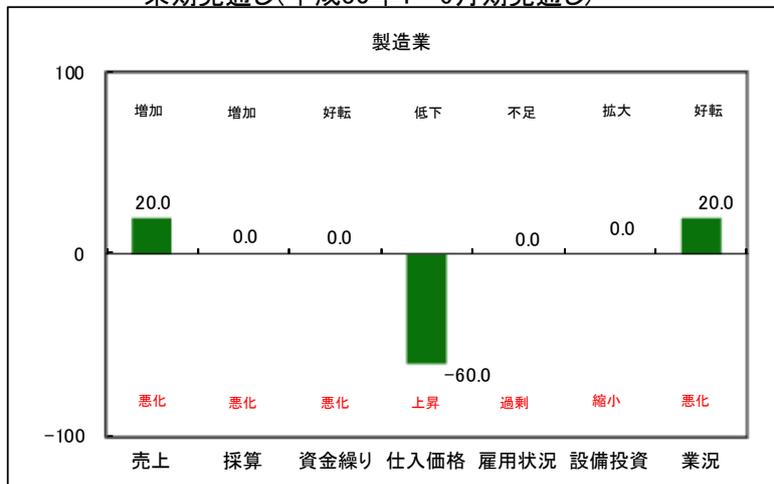
前年同期期比(平成29年1~3月期比)



前期比(平成29年10~12月期比)



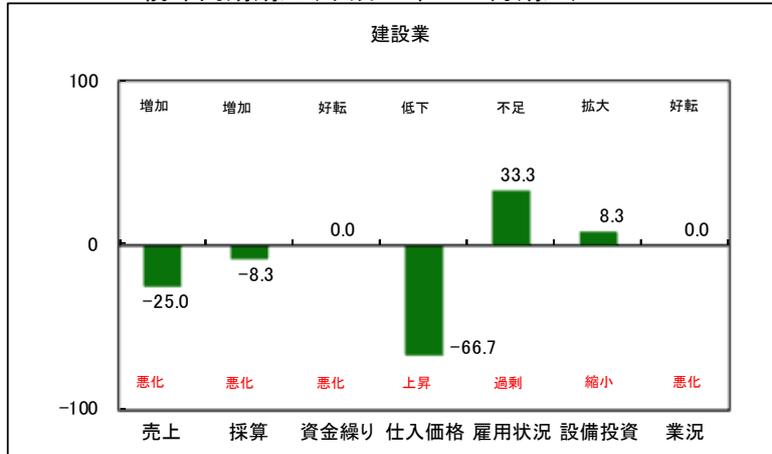
来期見通し(平成30年4~6月期見通し)



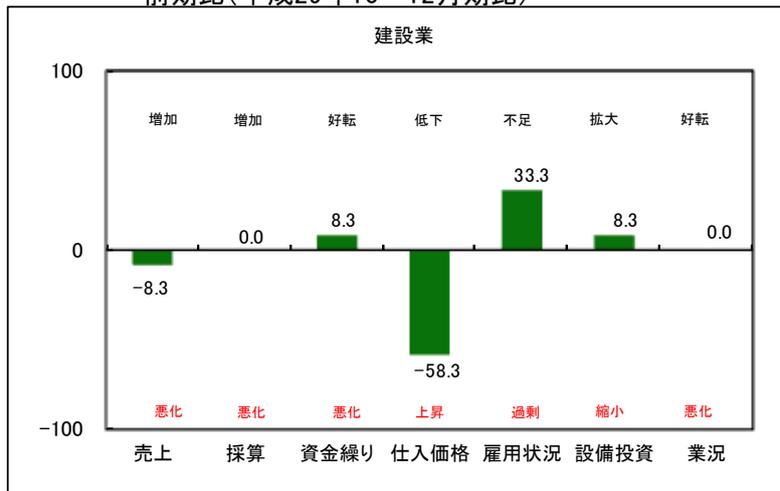
## 業種別景気動向

### 建設業

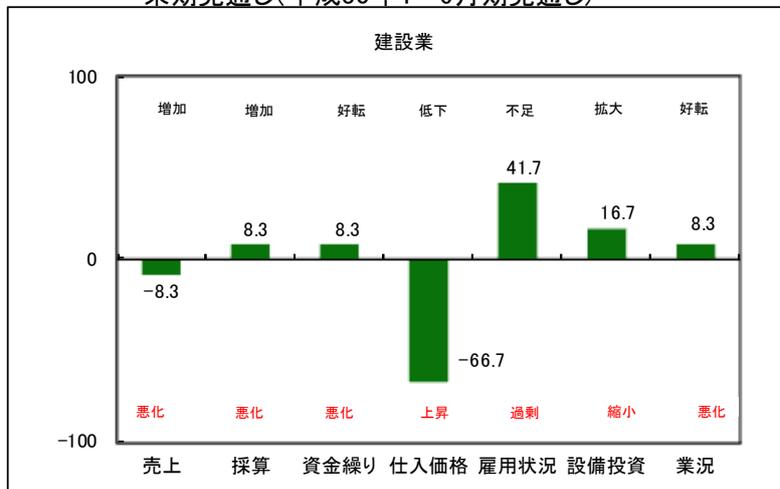
前年同期期比(平成29年1～3月期比)



前期比(平成29年10～12月期比)



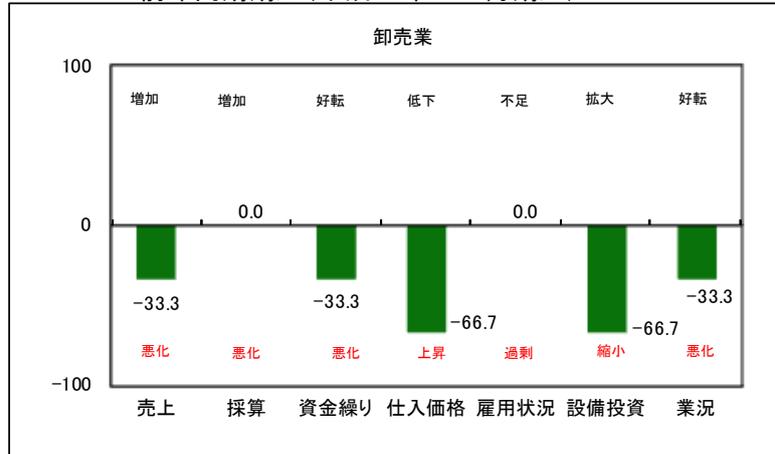
来期見通し(平成30年4～6月期見通し)



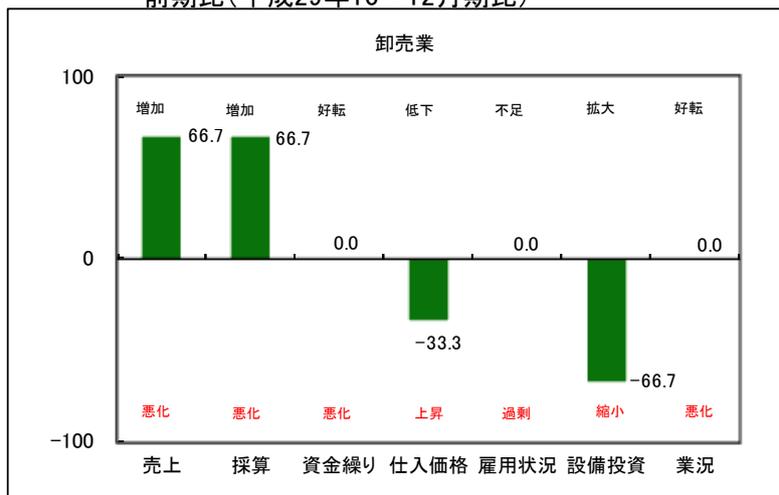
## 業種別景気動向

### 卸売業

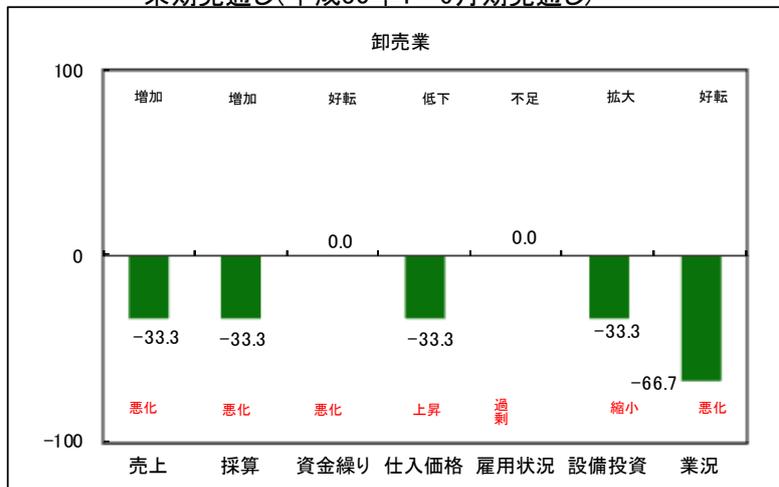
前年同期期比(平成29年1~3月期比)



前期比(平成29年10~12月期比)



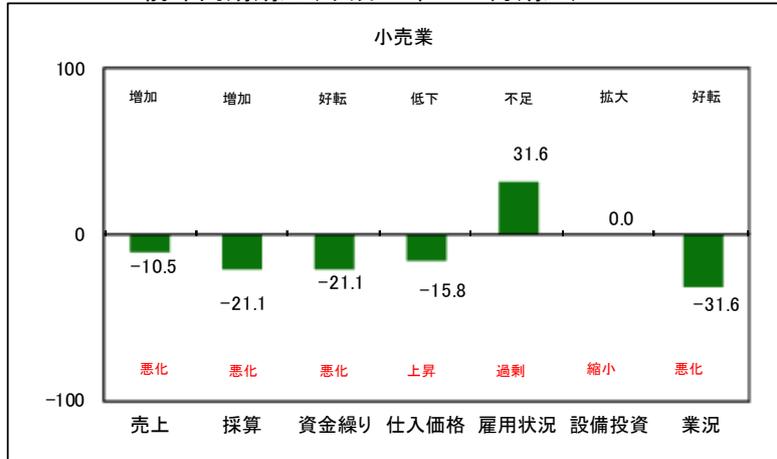
来期見通し(平成30年4~6月期見通し)



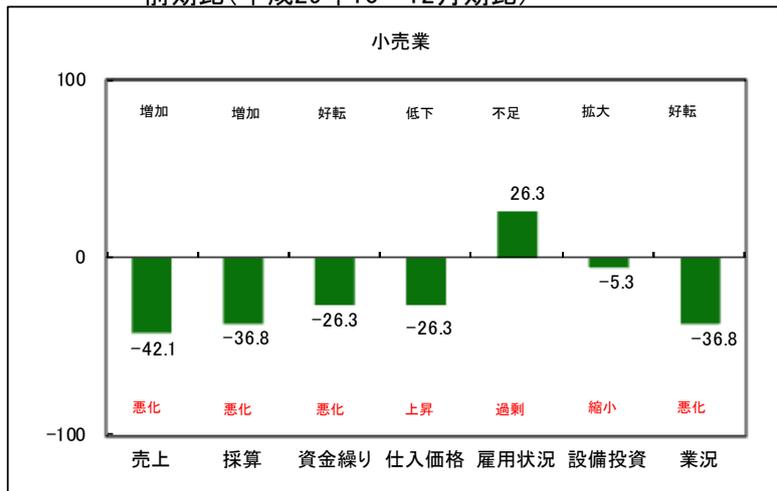
## 業種別景気動向

### 小売業

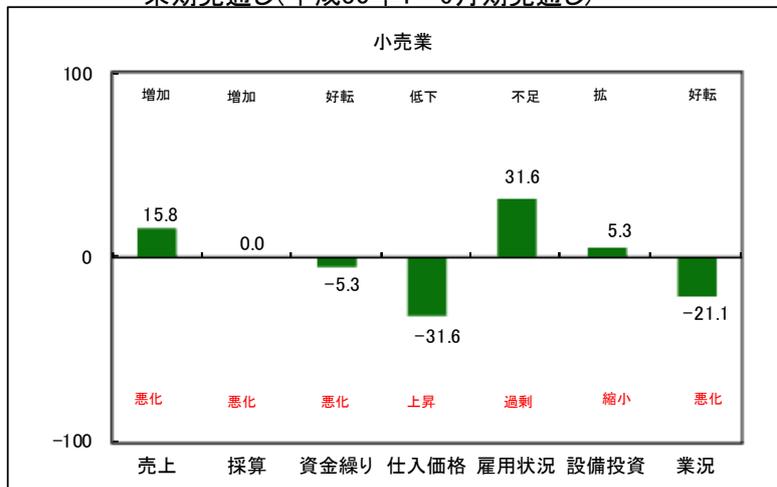
前年同期期比(平成29年1~3月期比)



前期比(平成29年10~12月期比)



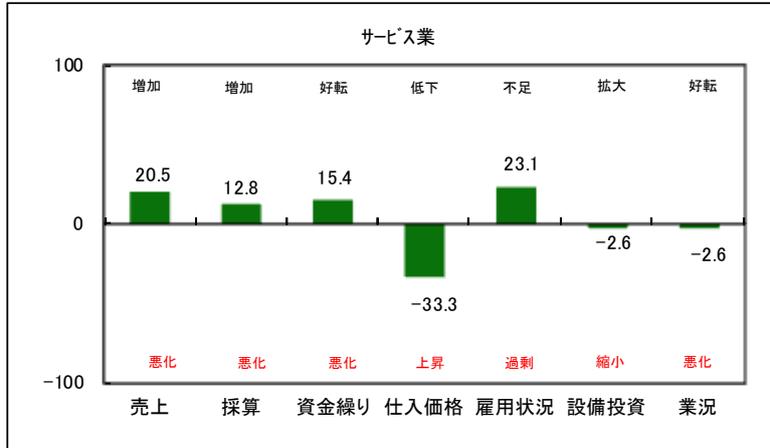
来期見通し(平成30年4~6月期見通し)



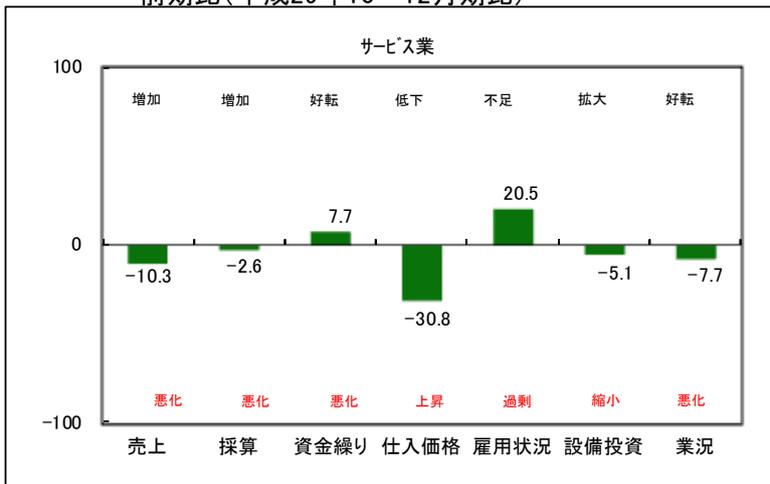
## 業種別景気動向

### サービス業

前年同期期比(平成29年1～3月期比)



前期比(平成29年10～12月期比)



来期見通し(平成30年4～6月期見通し)

